

特集

鶴岡市ビジネスプランコンテスト

夢を、この街で創る。

市は商工団体、金融機関等と連携し、地域資源や技術、新しい事業手法等を活用した「創業」を支援する取り組みを進めています。この特集では創業の機運を盛り上げようと開催した「鶴岡市ビジネスプランコンテスト」を紹介します。

問合せ…本所商工課 ☎25・21111

内線593



地域経済の活力「創業」

自分で新しい仕事や事業を手掛ける「創業」。創業によって新しいモノやサービスが市場に持ち込まれ競争が起き、生産性の向上や業界再編など経済の新陳代謝が促されるといわれています。

また、創業は働く場を生み出すとともに、地元事業者等との取引の増加や企業活動による交流人口の拡大など、地域経済の活性化にも大きく関係しています。

創業を支援する「メロ」

本市の産業・経済基盤は、多くの中小企業や小規模事業所が支えています。しかし、少子高齢化や経済のグローバル化の下、厳しい経営環境に置かれ、事業所は年々減少。また、事業主の高齢化や後継者不足といった問題も生じています。新たな地域経済の担い手を生み出す「創業」を支援することは、本市の経済活性化や雇用の創出につながる重要な取り組みの一つなのです。

そこで、この取り組みを地

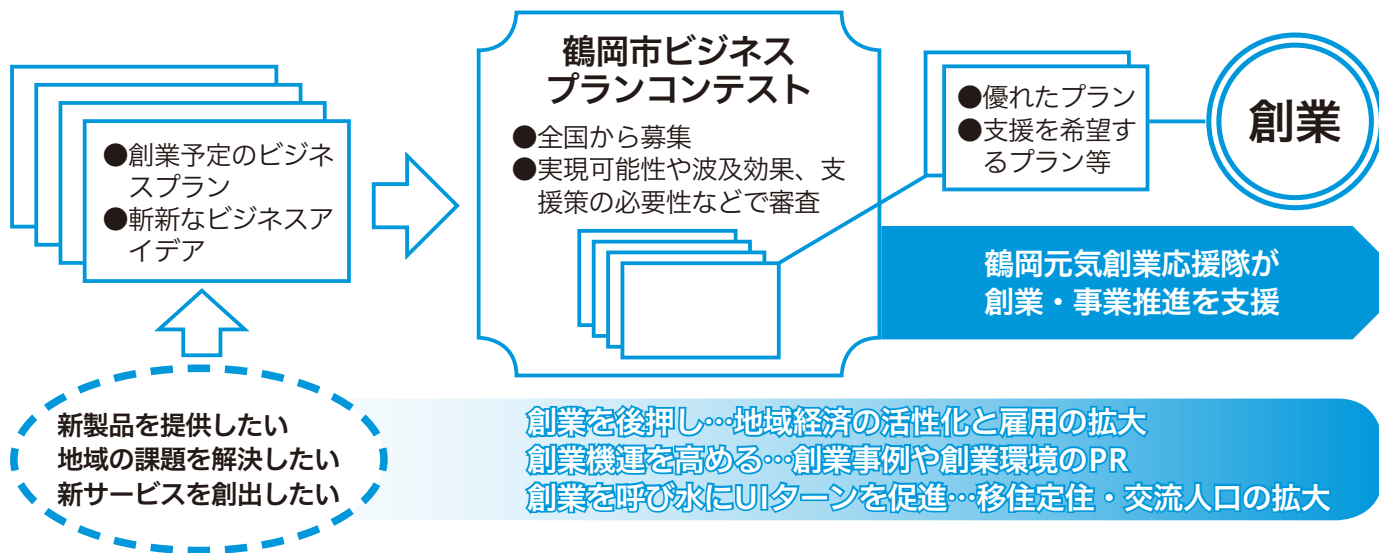
域一体となって進めようと、本市は平成二十六年度に産業競争力強化法に基づく創業支援事業計画を策定し、国の認定を受けました。

起業・創業に関する総合窓口の設置や、市、庄内地域産業振興センター、日本政策金融公庫酒田支店、鶴岡商工会議所、出羽商工会、山形県信用保証協会鶴岡支店で「鶴岡元氣創業応援隊」を組織し、それぞれが強みを生かし、起業・創業を支援しています。

鶴岡市ビジネスプランコンテスト

二月二十五日に開催した鶴岡市ビジネスプランコンテストは新たな創業支援の取り組みです。鶴岡の魅力を高めたリ、少子化・人口減少等の社会的な問題を解決したりするビジネスアイデアやプランを全国から募集し、優れた提案を創業に結び付けるものです。

市内で創業することを前提とした創業者や起業家向けの「ビジネスプラン部門」と、高校生以上を対象とした「ビジネスアイデア部門」で募集し、二百を超える応募がありました。アイデア部門では、大学生や高校生の応募が多く、



平成28年8月22日 ……………ビジネスプラン・アイデアの募集
～12月22日
◎大学、高専、高校などの教育機関や金融機関等、約80か所でPR
◎市内のイベントなど15か所でPR

12月3日 ……………関連イベント「アイデアソン@エキイチ」
◎講師等とビジネスアイデア出しやプランの磨き上げ

平成29年2月1日 ……………選定委員会による書類審査



応募総数 225件	プラン部門	34件	▶	プラン部門	5件
	アイデア部門	191件		アイデア部門	4件
		最終選考			9件

2月25日 ……………最終選考者プレゼンテーション & 表彰式
◎審査委員のトークセッション、最終選考者プレゼンテーション



「好きなことを仕事にしたい」「新たに働く場所をつくりたい」「地域の元気づくりに貢献したい」―創業は仕事を通して自分の夢をかなえる一つの選択肢でもあります。創業することで自分の夢にチャレンジしたいと考える人を鶴岡元気創業応援隊は応援していきます。

チャレンジするなら鶴岡

贈られました。

若い人たちが鶴岡の地域資源に関心を寄せていることが分かりました。

プランやアイデアの審査は、平尾清氏（東北公益文科大学教授）、尾形恵子氏（ティップス代表取締役）、竹井智宏氏（M A K O T O 代表）、榎本政規（鶴岡市長）が行いました。最終選考では応募者のプレゼンテーションとともに、事業の実現可能性や地域への波及効果、支援策の必要性などの点で審査され、最優秀賞一点、優秀賞二点が選ばれました。受賞者には賞金のほか、コワーキングスペースの無償貸出しや事業計画を磨き上げるための専門家派遣など、創業支援メニューが副賞として贈られました。



審査委員・平尾清さん

225のプランやアイデアは、その数だけ鶴岡の可能性が見つかった証拠です。他のコンテストではこれほど集まらないと思います。応募者のチャレンジを地域の皆さんから応援してもらいたいですね。そして鶴岡が創業に挑戦したくなるまちになるよう私も応援します。



**【アイデア部門】
優秀賞**

鶴岡工業高等専門学校
つるおかFTVブランド研究チーム
丹下 功貴 さん
吉川 保久土 さん
三浦 智弥 さん
佐藤 悠加 さん



受賞の声 アイデアが実現できるよう研究を続け、鶴岡の将来に貢献したいです。

ビジネスアイデア

**「つるおかFTV（フルーツ・ツリー・ボイス）ブランド」
事業の実現**

▶ 今まで活用されなかった果樹のせん定枝を原料としたスモークウッドチップを開発。チップを使用したハムやソーセージ等の薫製品・メニューを提供する。環境循環型の新商品開発システムを目指す。

**【アイデア部門】
最終選考**

鶴岡南高校
佐藤 栞 さん
渡部 夏帆 さん
五十嵐 麗 さん

ビジネスアイデア

鶴岡在来作物マップを使った食文化鶴岡世界発信プロジェクト

▶ 在来作物や郷土料理をマップで紹介し広く配布。鶴岡の食文化を情報発信し、第1次産業の活性化につなげる。

**【アイデア部門】
最終選考**

鶴岡北高校
佐藤 歩未 さん

ビジネスアイデア

鶴岡の良さを集めたアウトレットモール

▶ 誰でも気軽に鶴岡の食材や郷土料理、伝統工芸を求めることができるアウトレットモールを開設する。

**【プラン部門】
最終選考**

株めぐるん
加藤 丈晴 さん

ビジネスプラン

欧米豪に特化した高価格帯インバウンド向け「大聖坊山伏修行」新プログラム提供事業

▶ 体力に応じた山伏修行プログラムを通年で提供。ツアーと差別化した修行を高付加価値商品として事業化する。

**【アイデア部門】
最終選考**

今野 賢志 さん

ビジネスアイデア

鶴岡絵師ギルド（鶴岡イラストレーター同業者組合）

▶ イラストレーターが連携して、受注窓口や作業環境等を共有化し、安定的で効率的な就業環境を整備する。

夢を形に

初開催のビジネスプランコンテストでしたが、全国から多くのプランやアイデアが提案されました。この夢を形にするため、鶴岡元気創業応援隊では、

- 受賞者や応募者で支援を希望する方へ専門家のアドバイス
 - 関係機関へのあっせん
 - 情報発信や事業推進の支援
- などを通して、創業間もない創業者や

創業予定者の事業化を後押ししていきます。

また、経営・財務・人材育成・販路拡大等を学びたい方を対象に創業塾や創業個別相談会・講習なども行っています。起業や創業をお考えの方は、庄内産業振興センター内のワンストップ相談窓口「B-Support（ビー・サポート）」☎23-2200にご相談ください。

【プラン部門】 最優秀賞

㈱ WAKAZE
代表取締役

稲川 琢磨 さん



ビジネスプラン

～鶴岡から世界へ～洋食に合うオーク樽熟成の日本酒の開発・世界展開

▶ 洋食に合うよう樽（たる）熟成した日本酒「ORBIA（オルビア）」を開発し海外等に輸出する。醸造は鶴岡の酒蔵に委託。ORBIAを通して鶴岡をPRし、世界から旅行者を招くインバウンド観光につなげる。

受賞の声

鶴岡には多くの宝があります。それを大切にしてきた皆さんの思いを込めて世界へ発信していきます。

【プラン部門】 優秀賞

shonai scone
代表

秋田 皆子 さん



ビジネスプラン

庄内のおいしい食材を使った安心・安全・こだわりのスコーン専門店「shonai scone」

▶ 国産有機小麦と庄内産米粉を原材料に、卵・乳製品を使わないスコーンを製造販売。地元生産者と連携し、だだちゃ豆や庄内柿、しょうゆの実等の庄内産の良質な食材を活用し、県内外へ広く事業を展開する。

受賞の声

どこか懐かしく、優しい味の「まんまるスコーン」で鶴岡を元気にしていきたいと思います。

【プラン部門】 最終選考

大川 隆 さん
佐藤 潤一 さん
齋藤 克朗 さん

ビジネスプラン

庄内の自然を通して子供に未来を見つけてもらう体験・宿泊・レジャーの提案

▶ 全国の不登校児童・生徒を対象に庄内地方の自然を生かしたキャンプや就業体験などの宿泊プランを提供する。

【プラン部門】 最終選考

㈱岡ざき
岡崎 雅也 さん

ビジネスプラン

衣・食・住から地域を学び、伝え、育てる「地産地消ビュッフェ」～過去と未来を繋ぐ究極のカタチを求めて～

▶ 在来野菜や魚介類、郷土料理など鶴岡の食を満喫できる飲食店を開設。内装や食器等も鶴岡産でそろえる。